

東京大江戸ライオンズクラブニュース

No. 19 平成24年 冬期1号

ミャンマー委員会(委員長 熊野 活行L)、仏像 300 体を仏教寺院に寄贈!

東京大江戸ライオンズクラブ初代会長 熊野 活行Lが、ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市マウビ・タウンシップにあるアンザブタウヤ寺院に、国宝級の仏像 300 体を寄贈致しました。

本寄贈は、ミャンマー3000年の歴史において過去最大であり、仏像の中には 1,000 年を超える貴重な文化遺産もある事から、ミャンマー国全体に驚きと賞賛の声があかりました。

仏像の贈呈式は2012年10月18日に行われ、この模様はミャンマー国营放送(MNTV)が「ミャンマー3000年の歴史において過去最大の寄贈」と特集を組み10月19日の午後7時からのニュース番組で全国に放映されました。

300体の貴重な文化的価値の高い仏像がアンザブタウヤ寺院に寄贈された事により、当寺院はミャンマー仏教徒の新たな聖地として、またミャンマーのみならず、世界中の仏教徒が訪れる寺院になるだろうと確信されています。



2012年10月18日 仏像の贈呈式の状況

贈呈者 熊野 活行L



仏像が贈呈されたアンザブタウヤ寺院



仏像贈呈前の自宅で300体の仏像と熊野 活行L

東京大江戸ライオンズクラブ ベトナム委員会活動

ベトナム委員会(委員長 小川L)では、ベトナム ハイ
ズオン省 バックニン省の小学校、中学校 4 行を訪問
し、貧困家庭の生徒 100 人に、教育奨励金を直接手
渡しでプレゼントしました。

小川L 宇田川Lが参加しました。



在日ベトナム人留学生にそば打ち体験会



留学生とのベトナム料理を作る会



東京大江戸ライオンズクラブ モンゴル委員会活動

モンゴル国際経済大学の学生 5 名を 1 ヶ月間日本
に招待し、ホームステイプログラムをモンゴル委員会
(委員長 宇田川L)で実施しています。

今年で 7 年目を迎えたモンゴル学生のホームステイ
は、当クラブ研修所(千葉県の外房海)を中心に、
近隣の盆踊り、七夕、花火、サラブレッド乗馬などで交
流をはかり、箱根富士の観光や、都内の博物館など
文化施設の見学をし、日本の文化や生活体験を通し
て、日本をより良く知ってもらう活動を行いました。



東京大江戸ライオンズクラブでホームステイ受け入
れ中のモンゴル国際経済大学の学生と渋谷区内の
各シニアクラブのメンバーで「モンゴル交流会」を開
催しました。

来日生がモンゴルの歌や日本で覚えた日本の唱歌
等を当クラブ会員のオペラ歌手と共に披露し交流を
図りました。